

企業名：積水化学グループ

---

レポート名：統合報告書 2021

---

## 1, この会社が目指す姿が理解できるか

セグメント別業績で、2002年時は、高機能プラスチックカンパニーが営業利益の半数以上を占めていたが、2020年時には、住宅カンパニーや環境・ライフラインカンパニーやメディカル事業といった、プラスチック以外の分野での営業利益が全体の営業利益の約半分を占めるようになるなど、これまで以上に多岐にわたる分野に力を入れていることがよく分かる。なかでも、2018年以降、新たにまちづくり事業をはじめると、私たちの暮らしに直結する住宅部門に力を入れているように感じた。また、新型コロナウイルス蔓延の影響もあり、営業利益・営業利益率が低下しているなかでも、1株当たりの配当金・配当性向が良化していることから、株主に対する利益還元が積極的に行われていることが分かる。

以上のことや、統合報告書の冒頭にもあるように、積水化学グループは、“サステナブルな社会の実現”を大きな目標に取り上げている。その大きな目標達成するにあたり、今まで以上に多岐にわたり、私たちの暮らしにも関わる分野での活躍を目指しているように感じる。

## 2, この会社の競争優位性が理解できるか

積水化学グループは、報告書内にも記載されているとおり、「特許資産規模ランキング」、「他社牽制力ランキング」において、化学分野で2020年度はそれぞれ4位、また直近5年ではトップ10を維持しており、他社と比べても非常に高い開発力を有していることが分かる。また、特許の保有件数も過去5年間で、国内・海外ともに右肩上がりに増加しており、研究開発は順調に行われていることが分かる。近年では、2017年に世界で初めて、ごみをエタノールに変換する生産技術に成功しており、近頃非常に問題視される環境問題の解決に役立つ技術の開発にも積極的に取り組んでいるように感じられる。この他にも、住宅カンパニーの「セキスイハイム」や、環境・ライフラインカンパニーの給排水管は、日本でも有数のシェアを誇っている。

以上のように、積水化学グループは、高い研究開発力を持ち、住宅や給排水管など、私たちの暮らしにかかわる幅広い部門で活躍しており、他の企業に対しても優位性があるように感じられる。

### 3, その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

前項目内でも述べたとおり、積水化学グループの研究開発力は非常に高いうえに、その開発力はとても安定している。また、環境保護など、サステナブルな社会づくりが重要とされるこれからの社会において、「サステナブルな社会の実現」を目標に掲げる同社の研究開発力は大きく貢献していくと感じる。しかし、少子高齢化などの影響で新設住宅着工件数は減少しており、新型コロナウイルスがその流れに拍車をかけた。コロナウイルスの影響は徐々に小さくなっていくと思われるが、少子高齢化は進行する一方で、リフォームや海外展開にこれまで以上に力を入れなければ、住宅部門での業績は悪化してしまうと思う。

### 4, この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

積水化学グループは、グループ経営を牽引するビジネスリーダーの育成と、現場を支える人材の育成を両輪として、多様な人材の育成に力をいれている。なかでも、知的財産教育を重視しており、入社3年目までの技術者を対象に、習得すべき知的財産の基礎知識から戦略構築までを必修科目として設定している。このような取り組みも、同グループの高い研究開発力の維持につながっているように思う。また、女性の管理職者数の増加や、外国籍社員の採用などダイバーシティの取り組みに力を入れている。

以上のような充実した育成体制のなかで、人的資本の価値向上の達成は可能であると思うし、特に技術者にとってはとても良い環境であると思われる。

### 5, 報告書にはどのような改善余地があるか

この報告書は、企業の価値創造・中長期的な成長を支える戦略・価値創造を支える基盤・戦略の進捗・データの大きく分けて5つに分かれており、全体で87ページにわたって、それぞれの項目が丁寧に、また詳細に記載されていた。そのうえで、以下いくつか気になった点を挙げる。

報告書の中では、住宅カンパニーでは売り上げが横ばいの状態が続いているが、2022年度には、2020年度を上回る売り上げが予測されていた。日本での少子高齢化やコロナウイルスの影響の長期化が見込まれる中で、このような売り上げ予測をするのであれば、海外進出やリフォーム事業に関する記述をもう少し増やしたほうが、予測に対する説得力が上がったように思われる。また、ダイバーシティを目指す中で、多国籍社員の採用や活躍などというグローバル化に関する記載があったが、採用された他国籍社員の数の推移を表すグラフを載せたほうが、より同社のグローバル化をアピールすることができたように思われる。